

井原委員（広志会）

令和4年3月8日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）ICTを活用した教育について

ICTを活用した教育について、子供たちに何を使って教えていくのかというカリキュラムが確立できているのか、現状を教育長に伺う。

（答）

広島県教育委員会では、10年以上前から、ICTについて取り組んでまいりました。

GIGAスクール構想とICT教育の違いにつきましては、これまでのICTを活用した教育におきましては、児童・生徒の興味関心や意欲を高めるために、教員がプロジェクタ等を活用した授業、つまり教員主導の授業を行っておりました。

一方で、GIGAスクール構想におきましては、一人1台のコンピュータやクラウドサービスの活用を進めることで、多様な児童・生徒を誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現を目指しております。

その結果、ICTを用いることで児童・生徒一人一人の反応を踏まえた、きめ細かな授業展開を行うことや、教室の児童・生徒全員の意見をリアルタイムに共有することなどが容易になり、「学びの変革」における探究的な学びを促す教育活動を推進していく上で効果を発揮していると考えております。